

第14回 「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」

[応募要領]

募集対象：全国の小学校1年生～6年生

募集作品：牛乳紙パック工作

募集期間：平成26年9月1日～10月20日(必着)

応募先：〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-5-801
「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」事務局

主催：「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」実行委員会

後援：文部科学省、農林水産省、環境省、公益財団法人日本環境協会、
全国連合小学校長会、東京都公立小学校長会、全国小中学校環境教育研究会、
全国牛乳パックの再利用を考える連絡会、株式会社教育新聞社

協賛：全国牛乳容器環境協議会、一般社団法人日本乳業協会

お問合せ先：「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」事務局

Tel.03-5804-6573 Fax.03-3816-8359

受付時間／土・日・祝日を除く 9:30～17:00

地球環境を次世代へと引き継いでいくには、幼いころから地球のことを思い、行動する姿勢を養うことが大切です。しかし子どもたちにとって、地球環境という漠然としたテーマでは、自ら課題を見つけ、自ら考えるといった取り組みは困難です。その点、日々の暮らしの身近にある牛乳、果汁飲料、清涼飲料などの紙パックは、地球環境について考える導入教材として最適です。

紙パックは中の飲料を守るために、質のよいパルプから作られたとても丈夫な紙が使われています。この紙の原料である森林資源は、育てて活用するという古来の人間の知恵が今に生きている資源です。つまりリサイクルや地球環境だけでなく、先人の知恵についての学びにも適した素材といえます。また、中身の飲料、たとえば牛乳に目を転じれば、栄養バランスのとれた食生活の大切さなど、人の健康についても学ぶことができます。

本コンクールを通じて造形活動の楽しさに触れ、さらに、リサイクルのこと、森と動植物、森と人々のかかわり、食と健康、食品を届ける容器の役割、などに学びを広げていただき、未来を担う子どもたちの気付きや理解に貢献できましたら幸いです。

先生、地域活動グループのリーダー、保護者の皆様には、当コンクールの趣旨をご高察いただきまして、子どもたちをご指導くださいますよう、よろしく願いいたします。

1. 募集対象

全国の小学校 1 年生～ 6 年生

2. 募集内容

牛乳紙パック工作

牛乳、果汁飲料、清涼飲料などの使用済み紙パックを利用して制作した工作。
右頁の「審査基準」を参照してください。

《工作の決まり》

- ①制作機会や制作場所は問いません。
- ②実用品、遊具、装飾品を問いません。
- ③応募作品の大きさは、縦 1^{ドル}×横 1^{ドル}×高さ 1^{ドル}以内。
*上記のサイズは、作品が完成した状態での実寸です。
*パーツを組み立てる場合、組み立てたときの仕上がり寸法となります。
- ④応募数は製作者 1 人につき 1 作品。
グループで応募する場合は 1 グループ 1 作品。

《応募の決まり》

応募は、工作の実物ではなく、写真でお願いします。

応募用紙に所定事項を記入し、次の①・②と一緒に「応募先」へ送ってください。

- ①作品の写真：13cm×9cm程度の大きさ。デジタルプリント可。
- ②工作についての感想：B4サイズ of 用紙（原稿用紙でも可）2 枚程度に、
次のことをまとめてください
 - ・むずかしかったところ、工夫したところ
 - ・どのように遊んだか、使ったか
 - ・リサイクルや環境について考えたこと
 - ・家庭でやっているエコなこと

■ 応募用紙

この応募要領に添付してある応募用紙に所定事項をご記入ください。

作品 No. は 1 から順に連番でお書きください。応募用紙 1 枚に 10 作品まで記入できます。それより多くの作品を応募する場合は、お手数ですが必要枚数をコピーしてお使いください。2 枚目は 11 番からの、3 枚目は 21 番からの連番となります。学年別・組別で用紙を分ける必要はありません。

応募写真の裏と作文の右肩に、該当する作品 No. をお書きください。

下記ホームページからも応募用紙をダウンロードできます。

▶ <http://www.packun.jp/>

3. 審査

◆審査基準

- ・紙パックの活用力（5点満点）……紙パックという素材の特性を活かし、使用済み紙パック活用の可能性を広げるもの。
- ・独創性（5点満点）……創造力を発揮したオリジナルの作品。または、既に普及している形状であってもオリジナルのアイデアが施されている。
- ・技術性（5点満点）……完成度が高い。丁寧に作られている。
- ・環境思考の反映（5点満点）……エコな暮らしに役立つ作品やエコの主張がある作品。リサイクルできる作品づくりをしている。

◆一次審査 … 平成26年11月6日(木)

30作品を選考します。

選出された作品の応募者には事務局よりご案内します。工作の実物を送っていただきますので、それまで作品を保管しておいてください。

◆本審査 …… 平成26年11月21日(金)

一次審査で選出された作品の実物を対象に選考します。

4. 審査結果の発表

本審査終了後速やかに、受賞者（応募用紙にご記入いただいた連絡先）に通知します。
また、12月初旬に次のホームページで発表します。

▶ <http://www.packun.jp/>

5. 表彰式と入賞（上位7賞）作品展示

平成26年12月13日(土)

於「エコプロダクツ2014」展（東京ビッグサイト）内「全国牛乳容器環境協議会ブース」。

入賞（上位7賞）者には、追ってご案内します。

■作品の返却、入賞作品の帰属等

◎応募写真と感想文は返却しません。

◎第一次審査を通過し、お送りいただいた作品の実物は、表彰式終了後返却します。

◎入賞作品の帰属

入賞作品の知的財産権は制作者に帰属しますが、作者名・学校名および入賞作品の写真や添付文書はマスコミならびに協賛団体・企業が発行する情報誌およびホームページ、展示会などで公表することがあります。また、紙パック工作普及等のために、作品を複製または作り方を公表することがあります。

審査委員

委員長	銭谷 眞美	東京国立博物館長（元文部科学事務次官）
委員	石原 哲雄	一般社団法人日本乳業協会常務理事
	柏木 順二	公益財団法人日本環境協会専務理事
	齊藤 英行	株式会社教育新聞社取締役編集局長
	棚橋 乾	全国小中学校環境教育研究会会長
	西野 真由美	国立教育政策研究所総括研究官
	蓮池 守一	日本基礎教育学会副会長（元全国連合小学校長会長）
	平井 成子	全国牛乳パックの再利用を考える連絡会代表
	山登 正夫	全国牛乳容器環境協議会会長

（敬称略、五十音順）

賞と顕彰

次の各賞を選考し、顕彰します。なおグループ作品が入賞した場合は、グループを顕彰します。

◆最優秀賞 1点 ◆優秀賞 2点

以下各1点

◆全国小中学校環境教育研究会賞 ◆全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞

◆全国牛乳容器環境協議会賞 ◆日本乳業協会賞

以上、6賞受賞者（7名）には賞状ならびに盾と副賞（工作キット、再生紙レターセット、再生紙トイレトイレットペーパー100ロール入り1箱）を贈呈。

◆佳作 一次審査通過30作品のうち、上記各賞選外の23作品

賞状と副賞（再生紙レターセット、再生紙トイレトイレットペーパー100ロール入り1箱）を贈呈。

*応募者全員に参加記念品（再生紙画用紙帳）をプレゼント

昨年の入賞作品や牛乳パックについての情報を
下記ホームページで紹介しています。

<http://www.packun.jp/>